



結の故郷発祥祭  
～カブトムシを捕まえてみよう～（8月10日開催）

No.185 平成26年8月25日

発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

# おおの 議会だより

▼  
主  
な  
内  
容

- |   |        |
|---|--------|
| 結の故郷「奨学金」の財源とするための基金積み立て経費などを増額（定例会の概要） | 2ページ   |
| 9議員が市政を問う（一般質問）                         | 3～7ページ |
| 各議員の表決結果、副市長の選任に同意                      | 8ページ   |
| 結の故郷奨学金制度のPRは（常任委員会審査Q&A）               | 9ページ   |
| 後期基本計画策定の事前調査に民意の反映を（常任委員会報告）           | 10ページ  |
| 特別委員会報告、委員会視察レポート                       | 11ページ  |
| 議会基本条例のパブリックコメントの結果                     | 12ページ  |

# 7月 定例会市議会概要

第389回定例会市議会は、7月14日から7月31日までの18日間の会期で開催されました。  
今回の定例会では、平成26年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改正、物品売買契約の締結、副市長の選任についてなどの全15議案のほか、陳情1件について審議しました。審議結果は、8割のとおりです。

一般会計予算に  
5億4130万円を  
追加

平成26年度一般会計予算に5億4130万円が追加され、予算の累計が額が193億1230万円になりました。  
前年度6月補正後と比較すると12・1割の増です。

なお、主な補正の内容は下表のとおりです。

## 介護保険事業特別会計 補正予算

高額医療合算介護サービス費補助金が338万円増額され、予算累計が39億8849万円となりました。

## 結の故郷「奨学金」の財源とするための基金積み立て、 木質バイオマス発電関係施設への整備補助などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 第五次大野市総合計画 後期基本計画策定のための市民意識調査に要する経費	170万円
★ 国の臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の給付に要する経費	1億3881万円
★ 地域ぐるみ雪おろし支援事業で玄関先除雪を追加することに伴う増額	100万円
★ 旧荒島保育園を地域の福祉及びコミュニティ活動施設に改修する経費	1201万円
★ 木質バイオマス発電関係施設の整備に対する補助	9435万円
★ 九頭竜温泉「平成の湯」周辺のケビン広場や駐車場等の整備に要する経費	760万円
★ 九頭竜スキー場の圧雪車1台を購入する経費	3650万円
★ いじめ問題対策連絡協議会の設置など、いじめ防止対策の実施に要する経費	92万円
★ 結の故郷奨学金の財源とするための基金積み立て	2000万円
★ DAINOUスポーツランドのコース設営用圧雪車1台を購入する経費	2624万円

## その他の議案

▼大野市地酒で乾杯を  
推進する条例の制定  
本市の日本酒をはじめとする地酒で乾杯を推進する方策を定めた条例が制定されました。

▼あつ宝んど・平成の湯の  
利用料金の改定  
あつ宝んどあつ宝んどの温浴施設、プール利用料金共に、65歳以上の市民の方は、600円から500円に引き下げられました。

また、平成の湯の利用料金が、あつ宝んどと合わせ、大人が300円か

ら600円へ、小人が150円から300円へ引き上げられました。ただし、65歳以上の市民の方は500円です。

▼市税賦課徴収条例の  
改正  
地方税法の改正に伴い、法人市民税の法人税割率や軽自動車税率などが改正されました。

▼小型動力ポンプ付  
水槽車の売買契約  
小型動力ポンプ付水槽車1台と積載品や付属品など1式を購入する契約を認めました。



再整備が進む「平成の湯」について産経建設常任委員会が所管調査を実施（7月24日）  
9月3日から新館がオープン予定

# 農業は種をまくことから始まると考える。 本市農業の中心となる方針は



## 越前おおの型農業・林業の持続的発展に努めたい

**問** 農業を営むということとは、農産物を生産すること、つまり農業は種をまくことから始まると考えるが、本市には主な産業の一つである農業の中心となる方針はあるのか。

**答** 土を耕し、種をまき、苗を植え、育てあげ、そして収穫の喜びを味わうこと、さらに収穫した物が多くの人から高く評価されれば、これ以上の喜びはないと考える。

しかしながら、昨今の米価の下落や後継者不足など、農業農村を取り巻く環境がますます厳しくなる中、本市としては、環境調和型農業の推進や、農産物の総ブランド化などにより付加価値を高め、農業収益の向上を図るとともに、多様な担い手の確保と育成などにも取り組むことで、越前おおの型農業の持続的発展に努めていきたい。

**問** 持続可能な林業を目指すのであれば、森林を整備するための台帳ができていくかが重要で、山林現地で境界を明示し、検地をする必要があると考えるが、現状と今後の取り組みは。

**答** 本市では、現在、県が作成した森林簿を参考に所有者の確認を得て森林整備を行っている。しかしながら、この森林簿は、未相続など管理者が分かっていないものがあることに加え、所有者の高齢化などから現地確認がしづらい状況があり、森林施業が限定されている現状にある。そこで、航空写真や三次元写真を活用し、原則机上での作業と一部現地を確認する作業により山林境界の確定を簡潔にできる仕組みづくりができるよう、現在、内閣府に構造改革特区の認定申請中である。

新生おおの

まつばら  
松原

けいじ  
啓治 議員

# 大野市は人口減少非常事態宣言を 考えないのか



## 市は従来からさまざまな施策に取り組んでいる 宣言は考えていない

**問** 人口減少が予想以上に進んでいるのはなぜか。定住人口を増やす戦略は優先順位No.1と考えるか。

**答** 人口の自然動態と社会動態を認識し、それぞれの人口減少に歯止めを掛ける施策を考え、定住人口の増加に向けた対応策を部局を超え議論し、第五次大野市総合計画後期基本計画に盛り込む。

**問** 越前おおのまるごとの道の駅ビジョンの現状は。具体的構想を市民に絵で示すべきではないか。

**答** 基本的に変わっていない。市が取り組む施策を適宜適切に市民に分かりやすく示し情報は共有していく。ビジョン自体は中部縦貫道全通を視野に施策を展開する意味で作ったもので、一年一年更新することは考えていない。

**問** 結の故郷づくり交付金事業をどのように評価するか。越前おおのまる

ごと道の駅ビジョンとの関連をどのように考えるか。

**答** 地域住民の力が結集された事業となり感謝している。公民館長が兼務する地域振興室を設けて今以上に地域の取り組みを支援する。交付金事業をさらに充実させることで、地域の特性を生かし資源を磨き上げて、道の駅ビジョンの実現につなげたい。

**問** 観光客に魅力だと認められるように、魅力を高め底上げする事業として促進させるべきと考える。例えば天空の城越前大野城が全国的に有名になり、今こそ成山城趾本来の価値を高めて誘客の相乗効果を狙ってはどうか。

**答** 行政と他の団体ができることを総合的に考え、一帯で素材を伸ばして行く必要がある。成山城址までの道を林業サイドで里山の登山道として整備できないか検討している。

新風おおの

まつた  
松田

もとえ  
元栄 議員

# 憲法は政府に対する統制が目的では

## 政府のみならず全ての者が 遵守しなければならない



日本共産党・大野市議員  
浦井 智治 議員

**問** 立憲主義とは、権力の制約が核心で、政府に対する統制が目的である。憲法は政府を縛るものだと考えているか。

**答** 憲法は、国の最高規範であり、政府のみならず、わが国の主権の及ぶ範囲の全ての者が遵守しなければならないと考えている。

**問** 安倍内閣の集団的自衛権行使容認の閣議決定は、日本を戦争する国にするものである。市長は、市民の血を流させないため、集団的自衛権行使に反対の声を上げるべきでは。

**答** この憲法解釈は、行政府が行った「公定解釈」であり、地方自治体が言及する立場にない。

**問** 高校3年生の名簿の自衛隊への提供は、個人情報本人や家族の了解もなく提供されている。集団的自衛権の行使容認

**問** 立憲主義とは、権力がされた今、新たな戦死者を生み出しかねない。市は募集事務への協力を見直すべきではないか。

**答** 市は、自衛隊法施行令に基づき、応募資格者の調査、広報宣伝、適齢者に関する資料提供を行っている。引き続き募集事務は行っていききたい。

**問** 地域経済の活性化のために住宅リフォーム助成制度を、他市のように市民が幅広く使える、使い勝手のよいものにするべきでは。

**答** 全部の人に補助しているわけではないが、定住促進や耐震化を目的とした改修など、いろいろな条件を付けながらも多くの補助をしている。地域経済にも一定の役割を担っていると考えている。

一般質問

# 財政改革の目標は。 タイムリミットの設定を

## 財政構造は硬直化しているが、 具体的な数値目標は設定していない



双葉会  
高岡 和行 議員

**問** 財政改革の現状と目標は。財政改革をはじめ、市の目標にはタイムリミットがないのでは。

**答** 財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、平成24年度が92・7割と高止まりしている。本市の財政構造は厳しい状況下であるが、具体的な数値目標は設定していない。

**問** 自主財源の増加、固定費・人件費削減といった改善が見られない。本当に財政改革を考えているのか。

**答** 本市においてプライマリバランスの黒字化は非常に困難である。

**問** 人口減少に対する認識と、その施策は。

**答** 平成23年2月の総合計画策定当初に設定した目標値よりも速いスピードで定住人口の減少が進んでおり、人口減少対策は本市の最重要課題と認識している。現在の地方

**問** 財政改革の現状と目標は。財政改革をはじめ、市の目標にはタイムリミットがないのでは。

**答** 財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、平成24年度が92・7割と高止まりしている。本市の財政構造は厳しい状況下であるが、具体的な数値目標は設定していない。

**問** 自主財源の増加、固定費・人件費削減といった改善が見られない。本当に財政改革を考えているのか。

**答** 本市においてプライマリバランスの黒字化は非常に困難である。

**問** 人口減少に対する認識と、その施策は。

**答** 平成23年2月の総合計画策定当初に設定した目標値よりも速いスピードで定住人口の減少が進んでおり、人口減少対策は本市の最重要課題と認識している。現在の地方

**問** 今後のまちづくりの現状は。

**答** 今年の決算は赤字との報告を受けている。

# 地域循環型経済を目指し 中小企業振興条例の制定を



## 新たな条例を制定することはない

**問** 結の心を前面に表した「結の故郷越前おおの」をブランドキャッチコピーと定め、総ブランド化を進めているが、市内の事業者の方々からは「ブランド戦略がすごく良いことは分かるが、大野で生活している私たちの商売にどのように結びつくのか分からない」との声を聞く。そこで事業者、市民、経済団体と行政が中小企業の役割と重要性について共通認識を持ち、それぞれの役割について理解し、市全体で地域循環型経済の構築を図るために、中小企業振興条例の制定に取り組むべきではないか。



ふるさと大野今昔物語事業収集写真

昭和6年ごろの五番通りの様子

**答** 国の中小企業基本法では、国の責務、地方公共団体の責務、中小企業者の努力等、小規模企業に対する中小企業施策の方針などが定められている。さらに本市では、昭和49年に大野市中小企業振興条例を制定し、中小企業者や組合などが行う共同事業や、工場の新設又は移設などを促進し産業の発展に寄与することを目的として、補助金の交付や融資のあっせんなど、地元の中小企業向けの支援を行ってきた。市としては、新たな条例を制定することなく、これらの法律や条例に基づいて、大野商工会議所や関係機関と連携し、必要に応じこれらの施策を柔軟に見直しながら、中小企業・小規模事業者の振興を図っていききたい。

新生おおの

かねい  
兼井

まさる  
大議員

# 市長の3期目無投票。何を考えるのか



## 市民の生涯現役社会の実現と 交流人口増加を目指す

**問** 今回の市長選では無投票での当選。ご自身はどのように考えるのか。

**答** 人、歴史、文化など魅力ある素材の全てを磨きまちづくりを進めてきた。また、保健医療福祉サービス拠点施設や新庁舎の建設に取り組み、幹線道路整備も大きく前進した。市民の理解と協力によるもので、なお一層の結の故郷づくりにまい進する。

**問** 足腰が弱った高齢者の住宅バリアフリー化の進捗状況と今後の対応はどうか。

**答** 介護サービスでの住宅改修は介護度にかかわらず20万円を上限とし、その9割を補助する。また、法定外サービスではトイレや浴室などの改修に対し80万円を上限に9割を補助する。今後も制度の周知を行う。

**問** 高齢者の生活状態の適切さ、財産管理はどのような対応か。

**答** 財産管理については、成年後見人制度により、家庭裁判所が選任した後見人が行う。しかし、親戚による後見が困難な場合もあり、地元での身近な立場で支援する市民後見人制度もあるが、課題も考えられるため、今後、他市の状況等を注視する。

**問** 政府の農業に対する改革等についての対応はどうか。

**答** 農業従事者の高齢化により生産量が減少しつつある特産作物の生産体制強化とブランド化を進める。そのためには「農業農村振興基金」を活用し、機械の購入などの支援を拡充し、生産面積を拡大することで、農家の収益向上を図る。また、米の品種調査研究においては、県が2017年度の品種登録を目指し開発しているので動向を注視している。

新生おおの

みやざわ  
宮澤

ひでき  
秀樹 議員

# 自転車運転免許証交付制度の創設は

安全推進に向けての効果やコスト面、  
活用方法等を研究している



新風おの

石塚 いしづか

淳子 じゆんこ  
議員

**問** 自転車運転免許証交付制度の創設など、自転車のマナー向上のための取り組みを行っている。

**答** 先進自治体の制度を参考とし、安全推進に向けての効果やコスト面、活用方法等を研究しているが、まずは市民全体の安全意識を高めることが重要であると認識している。

**問** 土曜授業の実施について、どのように取り組んでいくのか。

**答** 学校では学習が遅れがちな児童・生徒に対して、教員が個別学習などを行っている。また、長期休業中には質問学習会や補充学習会なども実施している。土曜授業を推進することは考えていない。

**問** 学校においてタブレット端末を導入し、電子黒板等ICTツールとの連携による新たな授業を検討している。

討しては。

**答** 導入を検討するに当たっては、教員の指導方法や児童・生徒の学力向上、また理解度の進捗にどのようなメリット・デメリットがあるのか、どのような使い方が効果的なのかなど十分研究を行い、本市のICT教育の方向性を見極めていきたい。

**問** 認知症の早期発見のために誰でも気軽に検査できる「タッチパネル方式」の検査を取り入れたい。

**答** 現在、早期発見のための検査として「もの忘れ検診」に取り組んでいるが、こうした機械の活用は、検診よりも気軽に簡単に行うことができるメリットがある。今後は、高齢者が一同に会する場所などにおいて、認知症への関心を高める一つの方法として実施したい。

一般質問

# 「平成の湯」の条例改正で使用料が大幅に引き上げられるが

大野市内の他の施設との公平性から  
適切だと考えている



日本共産党・大野市議員団

榮 さかえ

正夫 まさお  
議員

**問** 大野市は、交流人口の増加を図るなど、5カ年計画でもそのように計画しているが、平成の湯の使用料を値上げすることが交流人口の増加に役立つと考えているのか。

**答** 交流人口の増加を図る上で、今の施設は老朽化しているため、リニューアル・新築することで、近隣市町や近隣の県からお越しいただけると考えた。使用料金については、あつ宝んどと同程度にすることとしたが、近隣の岐阜県の温浴施設より料金体系を安く設定したところである。

**問** 新築される平成の湯は、露天風呂に落雪する構造だが、除排雪の計画はどうするのか。

**答** 雪対策として、施設の玄関部分や露天風呂部分などの必要な部分は、雪囲いなどを予定している。また、今年度購入す

る小型除雪機械による除雪などで対応し、降雪の状況によっては排雪の作業も実施し、利用者への影響のないように対応したい。

**問** 農業問題に対し、市長は、農民が考えるべきことについて提案理由など、いろいろなところで発言しているが、地方自治体として何ができ、また地方自治体の限界をどのように考えているのか。

**答** 自治体に何ができかねるから、農業者がこれからの将来につながる農業を行う上で何が不足しているのか等、農業者からの要請があれば自治体としてできる限り応えていきたい。





# 「結の故郷奨学金」高校生への対応は。

## 高校生は考えていない。

### ～大学生等が対象で、優遇措置を取り入れ

### 人口問題にも対応する～

一般質問

新風おの

梅林 うめばやし

厚子 あつこ 議員



夏の高校野球県大会ベスト4に残り準決勝戦に向かう奥越明成高校野球部

**問** 高校進学と同時に教育費がかさむ。高校生も奨学金を受けられるのか。

**答** 高校生については考えていない。県の方で高校生用の就学困難な方に有利なものがあり他のものと併用できないこと。保護者の負担は、高校生と大学生とは相当の開きがあること。このような理由から大学生等が対象となる。

**問** 職業系の高校に進学した場合、資格試験、部活動などの経費がかかる。高校生の対応も必要なのは。

**答** 高校は授業料の無償化という支援金制度がある。また年間の授業料、生活費、学費なども大学等では相当かかる。そのような観点から大学生等を主体に考えている。

**問** 公共施設再編計画で、文化会館は改修又は改築とのことだが、市民アンケート結果は。

**答** 市民、団体に回答を求めたが、新築又は改修が必要との回答が過半数を超えた。アンケート結果を踏まえ、文化会館在り方検討委員会を設置し、本年度末をめどに検討結果報告書を作成する。

**問** 人口減少、高齢化の中で市民も財政の心配をする。アンケートでは建物に関する設問は二項目しかない。アンケートの持つ意味は。

**答** 公共施設再編計画の中で基礎資料として、アンケート調査を行った。

## 議 会 日 誌

### ◆5月

- 8日～10日 産経建設常任委員会視察研修（山口県宇部市・周南市・柳井市、広島県東広島市）
- 13日 北海道遠軽町議会行政視察来訪
- 15日 三重県桑名市議会行政視察来訪
- 19日 議会等改革推進特別委員会、議会運営委員会、議員全員協議会
- 22日・23日 議会等改革推進特別委員会視察研修（京都府長岡京市、滋賀県彦根市）
- 28日 全国市議会議長会第90回定期総会（東京都）
- 30日 全国市議会議長会天皇陛下下拝謁

### ◆6月

- 4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京都）
- 16日 議会等改革推進特別委員会、議会運営委員会、議員全員協議会

### ◆7月

- 3日 富山県滑川市議会行政視察来訪
- 7日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 14日～31日 第389回定例会
- 17日 全国森林環境税創設促進議員連盟役員会・定期総会（大分県日田市）

### ◆8月

- 11日 福井県市議会議長会定期総会

### 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開されます。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

### 市議会を傍聴しましょう

本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。次回の定例会は9月に予定されています。詳しい日程につきましては、9月号広報おおのご確認ください。



# 平成26年7月第389回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	山	梅	永	松	前	石	宮	川	松	藤	高	兼	島	浦	本	畑	砂	榮		
				崎	林	田	田	塚	澤	端	堂	岡	井	口	井	田	中	子	正				
市 長 提 出 議 案	35	平成26年度大野市一般会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	36	平成26年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37	大野市結の故郷奨学金基金設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38	大野市地酒で乾杯を推進する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	39	大野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	大野市健康保養施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41	大野市九頭竜保養の里設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	阿難祖辺地、黒谷辺地及び大納辺地に係る総合整備計画について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
案	45	小型動力ポンプ付水槽車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度大野市一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47	専決処分の承認を求めることについて（大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48	専決処分の承認を求めることについて（大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	6	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	

（議長（島口敏榮氏）は採決に加わらないので「/」で表示。欠席は「欠」、除斥は「除」と表示。）  
 議案に賛成○、反対×。  
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

## 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
 (0779-66-1111 内線253)



鈴木孝典 ほか4名  
 県実行委員会 代表委員  
 平和大行進・世界大会福井  
 原水爆禁止国民  
 提出者

副市長に下河育太氏（稲郷）を選任することに同意しました。  
 再任です。

陳情

人事案件



# 常任委員会審査



市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

## ▼総務文教

### 結の故郷奨学金制度のPRは

**問** 結の故郷奨学金制度のPRと募集のために印刷製本費を計上しているが、チラシ等の配布先はどこか。大学、短期大学、高専の他に職業系専門学校に進学する生徒も多いが、奨学金対象者になるのか。

**答** チラシ等の配布先は、市内全戸と市外も含め各高等学校、越美北線の駅等を考えている。職業系の学校は、県が認可した専修学校であれば対象者とする考えだ。

### ネットパトロールとは

**問** いじめ防止事業の委託料で計上しているネットパトロールとは、どのよう内容か。この金額で委託は可能なのか。また、業務を行う場所はどこか。

**答** ネットによるいじめや相談があった場合、また事前防止のため、専門家に調査とプロバイダーへの書き込みの削除等を依頼する。委託先は民間会社ではなく県警OB等を考えている。業務場所は、教育センター内を考えている。

### プール監視員には基準があるのか

**問** 夏休みに入り学校のプールを開放しているが、最近高校生の監視員がいる。水の事故は命を左右するが、本市は監視員の基準があるのか。

**答** 教員が監視責任者であり、子どもがプールに入っている間は教員がその場を離れないのが原則である。高校生は監視に当たる教員の補助者として雇用している。雇用は

## ▼産経建設

### 指定管理者のチェック体制は

**問** 指定管理者に対する苦情等を耳にするが、把握しているか。また、指定管理者のチェックはどのようにしているのか。

**答** 苦情等は把握していない。チェックについては、書類審査に加えて、代表者との面接を行い、聞き取りを交えて状況の把握に努めており、本年度からは、指定管理者の選考委員会のメンバーによる審査と経営指導を行う。

### 平成の湯の改築に合わせた誘客促進策は

**問** 平成の湯に隣接するケビンを取り壊す予算が計上されているが、取り壊すとの説明があっただけで、九頭竜保養の里エリア一带の活用策が見えてこない。平成の湯もリニューアルされるのだから、誘客を促進しようとする気持ちはないのか。



現在、営業を休止しているうらら館

**答** ケビン10棟のうち3棟については、耐用年数が過ぎていことから廃棄したい。

現在、平成の湯のリニューアルに合わせて、オープンニングのキャンペーンを考えている。また、本エリア一帯を使って、観光誘客を促進するプランを練っているところである。

### うらら館の現状は

**問** うらら館は現在、どのような状況か。

**答** 破産に伴う精算手続きが来年の4月以降まで延長になり、現在、破産管財人に対して、いくつ

## ▼民生環境

### 65歳以上値下げ

**問** あつ宝などは65歳以上の市民の料金を600円から500円に引き上げる（回数券だと1回当たり417円）というが、全体的な引き下げはしないのか。

**答** 消費税がこの先10割になる見込みの中で、全体的な引き下げは行わない。今回は増加する高齢者に向け健康増進と介護予防対策を図るもの。

### 更地でも

#### 下水道受益者負担金賦課

**問** 駐車場など住宅が建っていない土地にも受益者負担金がかかるのか。

**答** 課税地目が田畑の場合には猶予しているが、それ以外は負担金がかかる。下水道が通っているか否かでその土地の利用価値が全く違うということをご理解を願いたい。



石畳が施された寺町通り

### 七間、寺町の下水道工事は

**問** 市街地における下水道布設工事は七間、寺町だけが取り残されているように感じる。

**答** 石畳をどうするか地元と協議中である。観光面に考慮し、先進地事例なども参考にしていきたい。

### 越美北線特別便好評

**問** ふれあいホテル号は、申し込み開始後間もなく定員に達するほど人気というが、便数や定員を増やせないのか。

**答** 市民や市外の方から好評を得ているが、駅からほたる生息地までのバス移送の事情がある。また、環境面での配慮も必要である。

# 常任委員会 報告

## ▼総務文教

### 後期基本計画策定の

### 事前調査に民意の反映を

後期基本計画を策定するに当たり、事前に市民の意識調査・分析をするとのことだが、予想以上に人口減少が進んでいること等を鑑みると、民意の反映が必要である。委託に当たっては、委託業者に丸投げすることのないう留意願いたい。

### 前期基本計画

### 成果指標達成度公表は

### 分かりやすく

現在、人口に観光入り込み客数を加えた「ふれあい交流人口3万8000人の維持」を掲げているが、交流人口を含めた人口を目標設定する必要性について市民に対し、十分説明することが重要である。



大野市文化会館外観

市報等で公表するに当たっては、基本となる人口の推移が分かるよう、定住人口と観光客数を分けて示し、その上で、ふれあい交流人口の推移、今後のまちづくりについてポイント立てで説明するなど、市民に分かりやすい内容となるよう工夫願いたい。

### 文化会館の在り方の検討は

### 多方面から念入りに

昨年実施した市民アンケートの結果などを踏まえ、本市にふさわしい文化会館の在り方について、具体的に検討し、本年度末を目的に意見の集約を図り方向性を見いだすと

## ▼産経建設

### 指定管理者が使用する

### 圧雪車の適正管理を

補正予算において、九頭竜スキー場における圧雪車1台の更新経費が計上されているが、1台、3600万円余りの高額の備品であるので、使用する指定管理者に対し、長寿命化を十分意識した適正な利用と管理に努めるよう指導を願う。

### 市民の間伐に対する

### 意欲向上が不可欠

本市において建設が決まった木質バイオマス発電所への安定的な燃料供給のため、森林の間伐促進が今後の課題である。持続的に間伐材を供給し続けるためには、市民

の間伐に対する意欲の向上が不可欠なので、その仕組みづくりについて検討されたい。

### 和泉地区の振興を

和泉地区における過疎集落等自立再生対策事業については、有害鳥獣対策、特産品の品質向上、生産者の組織化や後継者育成に取り組みもので、本年度1年限りの国の補助事業である。

単年度で成果を出すには難しい面もあるため、それぞれの取り組みが来年度以降も継続されるよう、本事業に対する地区民の機運を高めるとともに、事業推進のための基盤を確立されたい。



過疎集落等自立再生対策事業でのサル用電気柵の設置講習会

## ▼民生環境

### 市民窓口へ自動発券機

病院や銀行窓口にあるような発券機を置き、市民窓口でのサービス向上を図りたいとのこと。窓口は市役所を象徴する場所であるため、機械のみで頼ることなく混雑時にはフロアマネージャーを置くなど、臨機応変に対応願いたい。



市民生活課窓口の様子

### 婚活力ステップアップ

婚活応援ポータルサイトや市内企業に参加を呼び掛けた結果、セミナー参加者は昨年の倍になり、婚活イベントでは、10組のカップルが成立した。結婚式場や若者が集う成人式、また他市が実施する婚活イベント等で広報活動を行い、さらに周知を図るとともに、今後の事業拡大を望む意見があった。

### 聴覚障害者の福祉施策の

### 充実を求める要望書

聴覚障害者に対して補聴器に係る費用の一部を助成、また職員へ聴覚障害や情報保障についての基本的な知識、情報の共有を求めるもの。

聴覚障害者の経済的負担や社会活動の不便さなど、日常生活の実態についての把握を怠らないように求めた。

### 下水道事業加入率30割

52割に当たる470戸で整備が完了、このうち下水道利用率は30.7割。下水道事業の採算性を高める観点から、加入率100割を目指して地道な努力を求める。また、今後の人口減少

# 特別委員会 報告

## ○中部縦貫自動車道・ 国道158号整備 促進

### ▼中部縦貫自動車道

永平寺大野道路では、順調に整備が進んでいる。大野油坂道路の大野東・和泉間では、本年度の工事着手に向けた準備が順調に進められている。

和泉・油坂間では、地権者との設計協議が整い、8月から幅杭設置を行い、降雪時期までに現地での立ち会いを予定している。残る大野・大野東間については、平成27年度の事業採択に向け積極的な要望活動を展開していきたい。

### ▼国道158号

境寺計石バイパス整備に対し、県において約4368万円が予算計上され、地質調査、道路予備設計を行い、地元に対して設計協議まで行う予定

とのこと。

▼157号大野バイパス  
平成28年度の供用開始に向け、整備が進められている。中保・吉間で用地交渉が難航している箇所について、土地収用法に基づく事業認定の手続きが進められている。

### ○議会等改革推進

3月定例会以降、5回にわたり委員会を開催し、議会基本条例案の策定をはじめ、会議の運営、質問の手順、議会モニター制度等について検討を行った。

基本条例については、最終の条文化に至り、6月1日から15日までパブリックコメントを実施。4人の市民から寄せられた7件の意見・提案について協議を行った。(※結果は最終ページに掲載) 結果、寄せられた意見・提案を条例案に反映させるまでには至らず、当初原案のとおり法令審査会の意見を求め、最終的な条例案の策定に向け手続きを進めている。

順、議会モニター制度等については、特別委員会で見直し案を協議し、会派の意見の調整を経て、その意見のとりまとめを行った。合わせて、他議会議員による不適切な政務活動費の支出が問題になる中、大野市議会議員に対する交付に関する条例や運用マニュアルなどの改正の必要性についても協議を行ったところである。

今後は、協議を進め、議会基本条例と共に、議長に対し、検討結果を中間報告として提出したい。

## 委員会視察 レポート



### ○民生環境

4月22日～24日に実施。静岡県袋井市では、健康マイレージ制度について研修しました。この制

度は、健康づくりをポイント化し、貯まったポイントを公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換、又は幼稚園や学校等へのポイント寄附を通じて社会貢献ができるというものです。また、静岡県伊豆市では、婚活を推進するため、出会いや交流イベント情報を共有できる会員制のサークルである「婚活サークル愛(i)リーグ」について研修しました。最後に、山梨県北杜市では、地域で育児援助をしたい人・してもらいたい人をつなぐ役割を担う「ファミリーサポートセンター」の活動内容と、子育てに特化

### ○産経建設

した情報を集めたサイト(やまネット)の運営状況について研修しました。

5月8日～10日に実施。

山口県宇部市では、市民提案の体験型観光や企業の協力を得て行う産業観光の取り組みについて研修しました。また、山口県周南市では、まちづくり会社の起業支援などの取り組み事例を、山口

### ○議会等改革推進

5月22・23日に実施。京都府長岡京市では、代表質問及び個人質問の運営方法や議会図書室の内容を、滋賀県彦根市では、代表質問及び個人質問の運営方法や議会基本条例の意見公募手続きなどについて研修しました。

### ○議会だより編集

7月2・3日に実施。

三重県鳥羽市と滋賀県甲賀市を訪問し、議会だよりの編集方法と紙面レイアウトの工夫などについて研修しました。

また、鳥羽市では、SNSを活用した情報発信の取り組みについてもお話をお伺いしました。



民生環境常任委員会、袋井市(4月22日)での研修



産経建設常任委員会の街並みを視察  
柳井市(5月9日)で「白壁

# 議会基本条例のパブリックコメントの結果

議会基本条例（素案）について、市民の皆さまのご意見をお伺いするため、パブリックコメントを平成26年6月1日から15日まで実施し、4人の方から7件の意見・提言をいただきました。それに対する市議会の考え方などについて、概要をご報告します。なお、詳しくは、大野市ホームページで公開しています。

No.	意見・提言の内容	大野市議会の考え方
1	議会の場合以外でどのような活動をしているのかが見えない。 年1回以上の議会報告を行うよう盛り込み、報告回数を開示してはどうか。	○検討の結果、条例（素案）のとおりとする。 【理由】 ・「おおの議会だより」、「大野市議会ホームページ」の掲載方法を工夫する。 ・議会報告会は、第6条で開催できると規定して条例に盛り込んでいるが、当面はモニター制度を導入し対応する考えでいる。 ※「モニター制度」：大野市議会に関する意見を聴取し、開かれた議会運営に資するための制度。定員8人以内、任期2年間、大野市民の中から議長が委嘱
2	第6条の2は必要な事項であると考えるが、具体的にどのようにして市民全体の意向を把握するのか。 第3章も含め、今回いい機会と考えるので、解説版を市民に配布し、関心を持つように促してはどうか。	・市町村合併時に意見交換会を開催した経緯はあるが、しばらくはモニター制度を導入し対応する考えでいる。 ・議会基本条例はホームページに掲載する。また市議会議員の改選後発行する議会だよりの臨時号に掲載できないか検討する。
3	勤労者の議会傍聴は困難。夜間開催も検討してはどうか。	・夜間議会を恒常的に開催するのは課題もある。 ・条例施行後、本会議のインターネット放映等により時間外でも議会映像を見ることができシステムを導入し対応したい。モニター制度を導入し市民の意見を求める。
4	第13条の一問一答方式導入は、非常に進歩的で情報発信に有効。市民は素早く情報キャッチでき、議会に対して関心が高まると思う。	・建設的な意見であり、早期移行を検討する。
5	他自治体では議員の圧力等により職員が追い込まれたケースがある。また議員が関与した職員との不適切な関係も見受けられる。再発防止のための項目を付加したらどうか。（研修含む）	○条例（素案）のとおりとする。 【理由】 ・第17条で議員の政治倫理の理念を規定し、詳細は大野市議会政治倫理条例で既に定めているため、議員と市職員の関係という新たな項目の付加は必要ないと考える。 ※大野市議会政治倫理条例：大野市議会議員の政治倫理について定めた条例
6	市民を意識した条例になっているが、「～に努める」という表現が多い。「～すること」の方が決意を感じる。	○検討の結果、条例（素案）のとおりとする。 【理由】 ・第23条、第24条で継続的な議会改革や必要に応じた条例の見直しを規定しているので素案の表現とする。
7	大野市議会基本条例案は既に制定や規定されている条例らを総括したもので、大変よくできていて素晴らしい。 この条例を形骸化させることなく、議員は市民の代表者、代弁者の認識と初心を忘れずに大野市の発展と市民福祉向上に日々努力することを期待する。	・第23条、第24条で継続的な議会改革や必要に応じた条例の見直しを規定している。条例が形骸化することのないよう常に良いものは取り入れ、モニター制度を導入し継続的な改革に努めていく。 ・議員は、市民の負託を受けた市民の代表であることを常に自覚し、議員として必要な資質の向上に努め、議会の構成員として役割及び責任を誠実に果たすとともに、自らの議会活動について、市民への説明責任を果たし、市政全体を見据え、積極的な調査研究活動を通じて、市民福祉の向上を目指して活動していく。

※ 次回は、10月25日の発行を予定しています。



委員 高岡 和行  
梅林 厚子  
兼井 大  
浦井 智治

議会だより編集委員会

紅花は必ずといって良  
いほど、半夏生にま  
輪が開花するとのこ  
当市では半夏生に焼  
を食することを殿様  
許されたこと。全  
的には、土用の丑の  
鰻を食したりします  
なせか細いのです。そ  
は造船所で働いた人  
憩時間が短いため直ぐ  
茹で上がるようにした  
北前船で京都へ運ば  
で言う口紅に加工され  
なる赤ではなく、玉虫  
輝く赤のこと。北前  
では、この大野の地  
も多くの特産物が日本  
地に運ばれたとか。当  
から進取の気象が、現  
れていました。現在  
「進取」はどうか、今  
一度「大野人」魂を奮  
起こす必要があるのだ  
と思えます。  
(座長 高岡和行)

編集後記